

はつらつ
ところっ

義足と共に駆け抜ける夏・冬二刀流のパラスリート



パラ陸上・パラスノーボード選手
(東京2020パラリンピック・北京2022冬季パラリンピック出場)
小須田 潤太さん (下安松出身)

安松小・中学校、県立所沢中央高校を卒業。21歳の時に交通事故で右足を失う。東京2020パラリンピックでは走り幅跳びで7位入賞。北京2022冬季パラリンピックでは練習中に転倒し負傷するも、スノーボードクロスで7位に入賞。



夏はスプリンター、冬はスノーボーダーと、異なる競技で東京2020パラリンピックと北京2022冬季パラリンピックに出場した二刀流のパラスリート、小須田潤太さん。二度のパラリンピックに連続出場を果たし入賞したつわものだが、学生時代はいわゆる「普通の子」だったという。

「中学校まではサッカー部でしたが、特にスポーツ一筋だったわけではありません。大学に進学するも中退し、高校生のときからアルバイトをしていた引越し会社に就職した。

21歳の時、人生が一変する。仕事でトラックを運転中に交通事故に遭い、右足の大部分を失ったのだ。事務職として職場に復帰したが、もともと何か目標を持って過ごしてきたわけでもなく、「ただ生きているだけの日々」が続いた。

転機が訪れたのは、24歳の夏。理学療法士などの勧めで、競技用の義足での走り方を学ぶランニングクリニックに軽い気持ちで参加した小須田さんを、運命的な出会いが待っていた。

「講師で来ていたパラ陸上のメダリスト・山本篤さんの走る姿を見て、シンプルに『カッコいい』と衝撃を受けました。自分と同じく足に障害がある山本さんの

姿に、「自分もやってやる」と突き動かされた小須田さん。その瞬間から、パラスリートとしての人生が幕を開けた。

山本さんの背中を追うようにパラ陸上の世界に飛び込み、のめり込んだ小須田さんだが、その後、山本さんがスノーボードにも挑戦し平昌パラリンピックへの出場を決めると、自身もスノーボードに挑戦。二刀流のパラスリートとなった。

国内外の大会で結果を残し、つかんだ夏季・冬季のパラリンピックの舞台。「東京から北京まで準備期間が短くて大変でしたが、やれることはやったと思います。とにかく楽しくて、やはりパラリンピックは特別な場でした」と二度の大舞台を振り返る。大会を終えて感じたのは「メダルを取りたい」という一層強い思いだ。

「今では、自分は足を失ってよかったと思っています」と、小須田さんはきっぱりとした口調で言う。パラスポーツと出会ってから、見える世界が輝き、広がっていったという。「『障害』と聞くとネガティブに感じることもあるかもしれませんが、しかし、捉え方によっては強みにもなる。そのことを、パラスポーツを通じて証明したい」と語る瞳は、2026年のイタリア冬季パラリンピックでの表彰台を見据えている。

ただ生きているだけの毎日から、足を失って見えた輝く世界。その世界を義足で駆け抜ける小須田さんの姿から、今後目も離せない。(取材：宮崎)

今月のプレゼントクイズ!

「年齢が…」「体力が…」片付けをあきらめていた人こそ!
お部屋の片付け整理 (2時間) (20,000円相当/事前カウンセリングあり×3組)



コミュニケーション重視で徹底的に寄り添います



「あなたの人生に寄り添う」という名のとおり、人生100年時代にこそ必要な「前向きな終活」を支援する同社。「片付けたくても体力的に無理」「誰に頼めばよいのかわからない」そんな悩みに、対話を通して女性スタッフが寄り添い、物だけでなく心の整理もお手伝いします。介護保険外の家事サービスなども展開中。

●社名 アテンドユアライフ 緑町3-20-5 ☎2928-4630
◎詳細は同社HPをご覧ください。



- ◆今月のクイズ
8・10・12面のクイズを解き、空欄に入る文字を順番につなげると?
- ◆応募方法 (5月10日(火)締め切り)
①クイズの答え②郵便番号③住所④氏名⑤年齢⑥電話番号⑦5月号の感想を記入し、〒359-8501広報課に郵送・市HP (Qプレゼント) で応募
◎当選者の発表は、引換券の発送をもって代えさせていただきます。
- ◆プレゼント提供事業者も募集中!
詳細は、市HP (Qプレゼント募集) をご覧ください。



▲市HP

読者感想文

- 新年度の施政方針がわかりやすくまとめられていて良かったです。よりよい市となることを期待しています (並木・20代)
 - 「日本一、子どもを大切にすまチ所沢」に大変期待しています (元町・30代)
 - 施政方針がとても興味深かったです。一市民として身近なことから協力していきたいです (中新井・50代)
- 編集から ●4月号特集は施政方針。所沢の動きがコンパクトにわかる、と好評ですが、実際の施政方針演説は数十分にも及びます。興味を持って詳しく知りたい、という方は市HP (Q施政方針) でぜひ全文をご覧ください

- コロナ禍で大変な時期ですが、いきいきと咲く満開の桜の表紙を見て、私も輝きたいと思いました (喜多町・10代)
- 編集から ●知る人ぞ知る、山口の岩崎弁財天の桜の表紙写真は、市民カメラマンによるもの。本号16面でも市民カメラマンが撮影した所沢の桜を紹介しています
- 場所がわからない施設も多いので、住所も記載してもらえると助かります (上新井・60代)
- 編集から ●紙面ではスペースの関係上、住所記載を省略していますが、デジタルブック版では施設名をクリックすると地図をご覧ください



編集後記

1年前、「これで最後」の思いで綴った編集後記をまた書く日が来るとは。再び広報紙を担当することとなりました。まだ感覚が戻らず戸惑うことも多いですが、1年間担当を離れて見えたことや、今、かえって感じる新鮮な気持ちを紙面に生かせるよう、そして、成長したねと言っていただけのように気持ちも新たにがんばります。読者の皆様のご協力や叱咤激励を引き続きよろしく願いいたします! (加賀谷)

本号から広報紙担当に。所沢の旬な情報を発信します! 本号特集は自身の健康。気温や気圧の変化で体調を崩しやすい時期は、食事・運動に留意し、暑さに負けない体づくりをしていきましょう (関)
本号から新連載が始まりました。誰かの困りごとに寄り添うことができたら、穏やかな日々が待っているはず。そんなささやかな気づきのお手伝いできればと思う広報2年目、葉桜の候です (坂本)